

こんにちは。SSH 推進委員会です。第二号となる今回は、SSH1 年目が始まったときから、探究活動や研修等に積極的に参加していたある**卒業生の感想**を紹介します。大学生活で忙しい中ではありますが、『**自分が体験したことや感じたことを後輩に伝えたい!**』という思いから感想を書いてくれました!!ぜひ読んでください!

また、当時の研修の様子や4月18日(日)の最先端の研究を紹介するオンラインイベントの案内を掲載します。

(下の二次元コードからリンク先へ)

72期生 科学部 大阪市立大学 理学部 物理学科

僕は理科が好きだったので高校に入学して科学部に入りました。そして、高校1年生の時には科学部として電気の研究をして大阪サイエンスデイに出場しました。また、僕は数学も好きだったので探究の授業では数学班に所属し数学の研究をしました。**そういった経験の中で自分自身は物理と数学が好きで、実験よりも理論的にアプローチする物理の分野や数学が好きだ、ということが自分の中でわかってきました。**高校2年生の時には授業での探究活動として行った数学の分野で大阪サイエンスデイに出場しました。

その他に SSH の経験としては当時、行われていた SSH の研修にはほとんど参加していました。京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA (サイラ)、理化学研究所の大型放射光施設 SPring-8、大阪大学のレーザー科学研究所など物理分野に絞らず様々な研修に参加しました。高校2年生の時には天文分野の研究をされておられる大阪市立大学の先生の講義を聴き研究室の大学生や大学院生にお話を伺う、という経験をしました。**そういった経験をするうちに大学でどんな勉強をするのか、なぜ自分は物理学を勉強したいのかというようなことが自分の中でしっかり自覚できてきたような気がします。**

その中でも一番大きな経験は大阪大学 SEEDS プログラムに参加したことでした。たまたま SSH 担当の先生から紹介され参加することにしました。大阪大学に様々な高校から集まった人たちが、それぞれが分野に分かれて大学の内容を含んだ勉強をするというもので、他校の生徒との出会いはとても刺激的で大きな経験でした。**何よりもそれに参加することによって物理の物の見方・考え方がよく理解でき成績も向上しました。**

この経験があって、すでに大学の学習内容を把握していた僕は浪人生の時に京都大学の推薦入試を受験することにしました。まずは1次試験として書類審査があり、合格した人は試験と面接を受けるという試験です。高校数学の範囲ではありますが4時間のテストという通常の大学入試とは違うものでした。結果は残念な結果に終わりましたが、**4時間のテストが自分にとってはとても楽しい時間で SSH の研修に参加したことや大阪大学 SEEDS プログラムの経験もこの入試を受けるきっかけになったと思っています。**

当時の研修の写真



研修の案内

数理で読み解く科学の世界
オンラインイベント
研究者が中高生にわかるよ
う最先端の研究を紹介!

詳細↓

申し込み↓



通常の授業でしっかり予習復習をして勉強するというのももちろん大事ですが、それだけではなく SSH の研修に参加したり、探究をすることによって自分の視野を大きく広げて欲しいと思います。その中で自分の目標がしっかり見えてくることで勉強への意欲が高まるのではないかと思います。様々な SSH 関係の案内が学校の掲示板に貼られていたりします。そういったものに注意をよせて自ら積極的に参加し視野を広げしっかりとした目標を持ってほしいと思います。